

日時・場所	平成28年4月25日（月）	8時45分～ 庁議室
出席者	山仲市長、川端教育長、立入議会事務局長、寺田政策調整部長、大藤政策調整部政策監、遠藤総務部長、上田市民部長、瀬川健康福祉部長、辻村健康福祉部政策監、小山都市建設部長、白井環境経済部長、藤池教育部長、野玉会計管理者、服部広報秘書課長、事務局（企画調整課）	

1. 市長指示事項

- 先週、総合計画ロードマップのヒアリングを行い、各部、課題を明確にしてもらったが、目標と事業の整理がしっかりできていない。事業自体が目標に位置付けられていたり、目標と事業が整合していなかったりしているものが見受けられた。単に表現の問題だけという捉え方ではなく、何が目標か、事業は目標を実現するための手段であることを明確に位置付けることをあらためて意識すること。
- 透明、公平、公正を基本としたコンプライアンスは重要である。ただ、各許認可事務、窓口対応等に関して、その場しのぎの対応が見受けられる。ルールに基づき毅然と、かつ現実を踏まえた対応をすること。
- 可能な限り、新聞や週刊誌等から得られる社会の動向、市民から得られる野洲市の動向等について、部次長をはじめ各職員がしっかり把握したうえで仕事に携わってほしい。協議をしても、いわゆる「世間知」というものの共通理解ができていないことがある。普段の仕事のプラスアルファとして、これらの動向には注視してほしい。

2. 報告事項

① 「やすまる広場 井戸端トーク」行政情報発信コーナーへの展示について

〔所管： 政策調整部〕

平成28年6月5日（日）市民活動支援センターにて「やすまる広場」が開催される。その一画で、市政の主要事業及び課題を情報発信するとともに、来場した市民の方と市長が気軽に、親しみを持って意見交換できる場を設けたいと考えている。テーマは8件で、関係各課には通知している。6月2日（木）までに資料を提出していただきたい。

→資料案ができた段階で協議が必要か。

→本事業は、各部課が主体的に情報発信をし、市民から意見をいただくというスタイルを進めるものであり、何れかの課が仕切るものではない。

→本事業の趣旨は、市行政の課題や施策等を示したうえで、市長と市民とが対話をするものである。ポスターセッションの説明員を配置するというものではない。仮に市長が市民と対話をしている最中に他の市民が来られたら、部長が対話をする。そのようなスタンスで関わること。

→本事業は、市長と市民とが公開の場で対話するという機会を設けた、といった経緯を事実として位置付けることにもなる。

→市民の外部評価の機会としても捉えている。

- 守山野洲医師会との懇談会の結果概要について、総合調整会議の会議要録の中で、「素案の詳細は内部で協議予定」となっているが、市役所組織が「内部」ではなく、市全体が「内部」であり、素案の段階であっても随時広く市民の意見を聴きながら作り上げていくものであり、決して秘匿するようなスタイルでは進めず、市民との接点をしっかりと持つこと。

3. 協議事項

なし

4. その他伝達事項

- 4月18日に市立こども園の職員が「腸管出血性大腸菌」に感染していることが判明した。同日中に保健所の調査及び指導を受け、当該職員は出勤を停止し、医療機関で受診させた。その他、保護者への報告、園の調理室やトイレ等の消毒を行う等の対応を行った。その後、園児並びに職員に体調不良の症状は出ていない。
- 本日より2泊3日で実施予定であった野洲北中学校3年生の修学旅行については、熊本等で発生した地震の影響で中止された。現時点では、6月末頃に関東方面に変更する予定である。

- ・ 野洲川北流側帯において、自然林を保全しつつ、側帯の防災広場は防災機能をもった運動公園として整備する計画をしているが、自然林の保全に携わっている方々が、野洲川整備の際に出た残土による盛土を潰したら困るという話をされているとのことである。突然聞いた話であり、なぜ今そのような話が出るのかが不明だが、本事業の基本設計について、今年度当初予算措置をしているので、慎重に対応すること。

5. 次回部長会議

5月2日（月） 13時～ 庁議室